



〒520-0041 滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
Mail info@sbu-ffs.com
URL http://sbu-ffs.com/

近畿財務局大津財務事務所・滋賀県銀行協会 滋賀労働局・大津労働基準監督署 書面により「要請」を実施

コロナ禍で今年は 書面にて要請

毎年この時期に近畿財務局大津財務事務所、滋賀県銀行協会、滋賀労働局、大津労働基準監督署に対して要請行動を行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み文書による要請としました。

この要請行動は全国金融共闘に連動して滋賀県金融共闘が主催して実施されてきた数十年の歴史のある「統一行動」です。

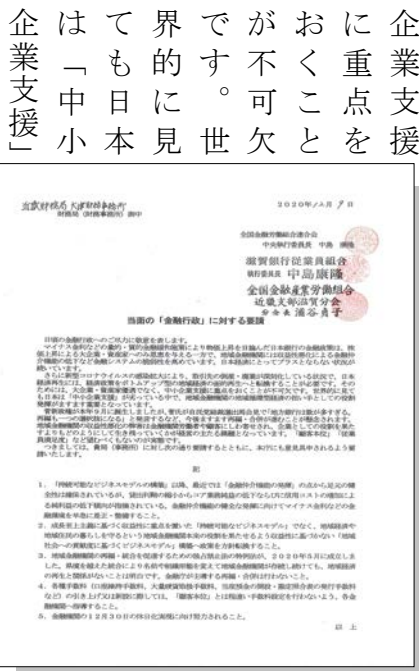
最近では、金融労連の要請活動に合わせ全国の可能な地域で行われており、滋賀県では金融労連本部（全国金融労働組合連合会）と滋賀銀行従業員組合・さざなみネット（全国金融産業労働組合近畿支部滋賀分会）の共同行動として行っています。

**日銀の金融施策は
地銀等の収益性悪化と
金融仲介機能の低下に**
近畿財務局大津財務事務所への要請書「前文」は以下の概要となっています。

マイナス金利などの量的・質的金融緩和施策により物価上昇を目標論だ日本銀行の金融政策は、株価上昇による大企業・資産家へのみ恩恵を与える一方で、地域金融機関には収益性悪化による金融仲介機能の低下など金融システム脆弱性を高めています。日本経済にとってプラスとならない状況が続いています。

経済政策をボトムアップ型の地域経済の面的再生へ転換を

さらに新型コロナウイルスの感染拡大により、取引先の倒産・廃業が深刻化している状況で、日本経済再生には、経済政策をボトムアップ型の地域経済の面的再生へと転換することが必要です。そのため、大企業・資産家優遇でなく、中小企業支援に重点をおくことが不可欠です。世界的に見ても日本は「中小企業支援」



が劣っている中で、地域金融機関の地域循環型経済の担い手としての役割発揮がますます重要となっています。

菅政権の再編合併促進は地域経済の再生と無縁は明白

菅新政権が本年9月に誕生しましたが、菅氏が自民党総裁選出馬会見で「地方銀行は数が多い。再編も一つの選択肢になる」と発言するなど、今後ますます再編・合併が進むことが懸念されます。

地域金融機関の収益性悪化の弊害は金融機関労働者や顧客にシワ寄せされ、企業としての役割を果たすよりもどのようにして生き残っていくかが経営の主たる課題となっています。「顧客本位」「従業員満足度」など望むべくもないのが実態です。



職場の声

処分撤回と名誉回復を求める声(第2弾)

11月号の波紋「職場の声」処分の撤回と名誉回復を求める記事の続編です。当事者からその後の経過について投稿が寄せられましたので原文のまま掲載します。

「処分は正当」の表明なし

9月中旬に処分撤回と名誉回復を求めて人事部と話を機会を持ってもらい、従業員組合員にも交渉の場に立ち会ってもらった。人事部に当時の国際部の状況や対象事案の内容と処分の不当さを訴えた。交渉のなかで人事部から「処分が正当である」という表明はなかった。後日検討のうえ何らかの連絡があると思ったが、3ヵ月経過するも何もなかった。交渉から数週間経って、従業員組合の立会人に「今更処分の撤回をするのは難しい」と旨の表明があったようである。しかし、当時の処分については『正当な処分である』旨の表明もなかったと聞いた。

業務内容を知らない者が集まって処分を決定？

話がそれたが、処分の正当性にも言及できないことは、要するに処分を下す側が業務にかかわる規則や法律、諸制度を知らなかったということがある。つまり、法律をよく知らない判事に裁かれていないようなものである。しかし、そんな人間が処分を下す側にいていいのか。処分をされる側からすれば、怒り心頭である。この銀行はどうなっているのか。本当にあきれ返るばかりだ。

投稿内容は以上です。当時の事情として、非常に忙しく処分に対して反論する場をほとんどとせずに、逆に「反省の色がない」と一蹴されたそうです。当行の処分はブラックボックスのなかに議論・決定されているので、組合には処分決定後、通知されるだけで、その後分されるだけですが、内容の吟味が必要な事案もあるのではなからず、勘繰らざるを得ないかと思えます。この件については、公正性を質すべきだ

結果未着の原因は被仕向先の銀行が代り金の到着確認を怠っていたことにあった。海外金融機関のなかに、海外業務レベが低い銀行もあり、外為業務に従事者には周知の通りである。X社および当行双方にとっては一運であったが、いつ起ったもおかしくない事象の一つといえる。とところが、そうした海外特有の諸事情すら知らない該支店長が本部に怒鳴り込む理由や「言い訳するな！理由はどうあれ、客に迷惑をかけたということを詫びろ！」とわめき散らしたのである。さらに、支店長をなだめることなく、当該送金に決裁者に全責任を押し付けた部長席にも、あたふた呆れるばかりであった。

アンケート集計結果 「職場と生活アンケート」 「非正規で働く 仲間のアンケート」

従業員組合は、昨秋から年末にかけて「職場と生活アンケート」と「非正規で働く仲間のアンケート」を取り組みました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

このアンケートは、全国の職場で取り組まれています。集約は単組（当組合）、単産（金融労連）や国民春闘共同会議で全国集計され春闘要求に生かされるほか、業界団体や関係省庁への要請や交渉に活用させていただきます。

